

和泉山地・槇尾山施福寺ハイキング（修正）

日 時 : 2015 年 7 月 9 日（木） 9 時集合 早いですが遅れないでください
(9 時 12 分発の槇尾山口行きのバスに乗ります)
(次のバスは 11 時 12 分発しかありません)

集 合 : 泉北高速鉄道と泉中央駅 南海バス 2 番乗場

持ち物 : 飲物、弁当、ストック、観察用具、雨具

雨天判断 : 8 日午後 7 時の天気予報で大阪南部方面降水確率 50%以上で中止します

行 程 : 泉北高速鉄道と泉中央駅 ⇒ 南海バス 9 : 12 発 槇尾中学校前でオレンジバスに乗り換え ⇒ 槇尾山（満願寺）9 : 52 着

満願寺（槇尾山観光センター）満願の滝 10 : 10 発 ⇒ 山門 10 : 30 発 ⇒

11 : 10 施福寺着 参拝&境内で弁当 12 : 00 発 ⇒ 檜原分岐 13 : 10 発 ⇒

五ツ辻 14 : 10 発 ⇒ 根来谷水場 14 : 40 発 ⇒ 公園口 15 : 00 発 ⇒

15 : 10 槇尾山観光センター帰着 15 : 28 発オレンジバス乗車

⇒ 槇尾山中学校前で南海バスに乗り継ぎ ⇒ 16 : 07 和泉中央駅着、解散、有志反省会

注) オレンジバス（マイクロバス）：片道 300 円×往復

南海バス：片道 330 円（IC カードは使えます）×往復

今回は西国三十三ヶ所観音霊場第四番札所・槇尾山施福寺へ参ります

オレンジバスの停留所そばの落差 50m の満願の滝で気合を入れて、施福寺へ登ります
施福寺は欽明天皇（仏教伝来時の天皇）の命により行満上人が創建したと伝えられ、槇尾山の山腹、標高 485m にあり、金剛葛城連峰のすばらしい眺望が楽しめます

すこし早いですがここで弁当です。昼食後は檜原分岐、五ツ辻を経由、根来谷を下り、公園口を経由して槇尾山観光センターに帰着、15 : 28 発オレンジバスに乗ります。バス時間待ちの間にバス停前の槇尾山観光センターでお土産を買うこともできます

なお、オレンジバスは槇尾山口までフリー乗車区間ですので、時間に余裕があれば公園口から逆向きに槇尾山口の南海バスまで安心して歩くこともできます（約 4 km）。

ちなみにその次のオレンジバスは 17 : 28 発（終バス）です



観光センター 地場産？が並んでいます



満願の滝



施福寺山門

コース略図

和泉市観光案内の一般向きコースの一部分を切り取った略図です

図の槇尾山観光センター前がオレンジバスの停留所。ここから図の右回りに登って下ります
距離は 4 k m 強です



(参考ミニ情報) 槇尾山施福寺と西国三十三所観音霊場

○槇尾山施福寺

- ・本尊は弥勒菩薩
- ・西国三十三所第四番札所
札所本尊は千手観音
- ・創建伝承
欽明天皇の時代（仏教伝来の頃）、行満上人
- ・弘法大師空海が20歳の時、出家剃髪した（もちろん伝承です）
- ・地名起源の伝承
役小角（役行者）が法華經の卷々を葛城山の各所に埋納したが、
ここで最後に埋納したので 卷尾山（槇尾山）という
- ・南北朝時代は 南朝の拠点の一つ
- ・織田信長と対立、全山焼けたが豊臣秀頼の援助で復興
- ・江戸時代は徳川家の援助 その関連で真言宗から天台宗へ改宗、江戸の寛永寺の末寺に

○西国三十三所観音霊場

- ・近畿2府4県と岐阜県にある観音霊場
- ・33か所の観音信仰の霊場
- ・日本で最も歴史ある巡礼行
倣って各地に三十三箇所観音霊場が設定された
西国三十三所と坂東三十三箇所、秩父三十四箇所をあわせて日本百観音ともいう
先日 7/2 歩いた亀岡半国山の神尾山金輪寺も口丹波三十三所観音霊場の一寺でした
口丹波とは丹波の南部、京都に近い地域（亀岡市、南丹市、京丹波町あたりです）
- ・妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五（觀音經） 觀音菩薩 33 変化に基づく
33か所参詣すると現世の罪業が消滅、極樂往生できる
- ・起源伝承
長谷寺の徳道上人（718年）が閻魔大王から託宣を受け、宝印を授かり、霊場を定めたが、
世間に普及しなかったので摂津国の中山寺に宝印を納めた
花山院が那智山で熊野権現から託宣を受け、徳道上人の宝印を探し出し 33 霊場を巡礼、
各寺院の御詠歌を作った。こうして現在の西国三十三所巡礼が定められた（伝承です）
- ・10世紀後半の観音信仰（起源の伝承）で長谷寺が第一番、12世紀後半には院政期の熊野詣の
影響で那智山青岸渡寺を第一番にした現在の三十三所となった

西国三十三所札所寺院の一覧

山号、寺号、通称・別称の欄は50音順ソート。開扉時期の欄は頻度順ソート。

番	山号	寺号	通称/別称	札所本尊	開扉時期	宗旨	所在地
1	那智山	青岸渡寺	那智山寺	如意輪観音	年3回	天台宗	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8
2	紀三井山	金剛宝寺 護国院	紀三井寺	十一面観音	50年毎	救世観音宗	和歌山県和歌山市紀三井寺1201
3	風猛山	粉河寺	—	千手観音	開扉なし	粉河観音宗	和歌山県紀の川市粉河2787
4	槇尾山	施福寺	槇尾寺	千手観音	5月1日 - 15日	天台宗	大阪府和泉市槇尾山町136
5	紫雲山	葛井寺	藤井寺	千手観音	毎月18日	真言宗御室派	大阪府藤井寺市藤井寺1-16-21
6	壺阪山	南法華寺	壺阪寺	千手観音	毎日	真言宗 (豊山系単立)	奈良県高市郡高取町壺阪3
7	東光山	龍蓋寺	岡寺	如意輪観音	毎日	真言宗豊山派	奈良県高市郡明日香村岡806
番外	豊山	法起院	徳道上人 廟	—	—	真言宗豊山派	奈良県桜井市初瀬776
8	豊山	長谷寺	初瀬寺	十一面観音	毎日	真言宗豊山派	奈良県桜井市初瀬731-1
9	—	興福寺 (南円堂)	—	不空羅索観音	10月17日	法相宗	奈良県奈良市登大路町48
10	明星山	三室戸寺	御室戸寺	千手観音	不定	本山修験宗	京都府宇治市菟道滋賀谷21
11	深雪山	上醍醐寺 (准胝堂)	—	准胝観音	5月15日 - 21日	真言宗醍醐派	京都府京都市伏見区醍醐醍醐山1(2008年に落雷により准胝堂が焼失したため、再建までの間、札所は下醍醐の大講堂(観音堂と改称)に移され
12	岩間山	正法寺	岩間寺	千手観音	不定	真言宗醍醐派	滋賀県大津市石山内畑町82
13	石光山	石山寺	—	如意輪観音	33年毎	東寺真言宗	滋賀県大津市石山寺1-1-1
14	長等山	園城寺 観音堂	三井寺	如意輪観音	33年毎	天台寺門宗	滋賀県大津市園城寺町246
番外	華頂山	元慶寺	—	—	—	天台宗	京都府京都市山科区北花山河原町13
15	新那智山	観音寺	今熊野観 音寺	十一面観音	9月21日 - 23日	真言宗泉涌寺派	京都府京都市東山区泉涌寺山内町32
16	音羽山	清水寺	—	千手観音	33年毎	北法相宗	京都府京都市東山区清水1丁目294
17	補陀洛山	六波羅蜜寺	—	十一面観音	12年毎	真言宗智山派	京都府京都市東山区五条大和大路エル果入2丁目 錦織町81-1
18	紫雲山	頂法寺	六角堂	如意輪観音	不定	天台系単立	京都府京都市中京区八角東洞院四入室之則町 248

19	霊麁山	行願寺	革堂	千手観音	1月17日 - 18日	天台宗	京都府京都市中京区寺町通竹屋町上ル行願寺 門前町17
20	西山	善峯寺	よしみねさん	千手観音	毎月第2日曜	善峯観音宗 (天台系単立)	京都府京都市西京区大原野小塩町1372
21	菩提山	穴太寺	穴穂寺 菩提寺	聖観音	33年毎	天台宗	京都府亀岡市曾我部町穴太東ノ辻46
22	補陀洛山	総持寺	—	千手観音	4月15日 - 21日	高野山真言宗	大阪府茨木市総持寺1-6-1
23	応頂山	勝尾寺	弥勒寺	千手観音	毎月18日	高野山真言宗	大阪府箕面市粟生間谷2914-1
24	紫雲山	中山寺	中山観音	十一面観音	毎月18日	真言宗中山寺派	兵庫県宝塚市中山寺2-11-1
番外	東光山	花山院 菩提寺	尼寺のお寺	—	—	真言宗花山院派	兵庫県三田市尼寺352
25	御嶽山	清水寺	福川清水さん 清水さん	千手観音	毎日	天台宗	兵庫県加東市平木1194
26	法華山	一乗寺	—	聖観音	不定	天台宗	兵庫県加西市坂本町821-17
27	書寫山	圓教寺	四の比叡山	如意輪観音	1月18日	天台宗	兵庫県姫路市書写2968
28	成相山	成相寺	成相さん	聖観音	33年毎	真言宗 (古義系単立)	京都府宮津市成相寺339
29	青葉山	松尾寺	まつのおさ	馬頭観音	不定	真言宗醍醐派	京都府舞鶴市松尾532
30	厳金山	宝厳寺	竹生島宝厳	千手観音	60年毎	真言宗豊山派	滋賀県長浜市早崎町1664-1
31	姨綺耶山	長命寺	—	千手観音 十一面観音 聖観音	不定	単立	滋賀県近江八幡市長命寺町157
32	織山	観音正寺	仏法興隆寺	千手観音	毎日	単立(天台系)	滋賀県近江八幡市安土町石寺2
33	谷汲山	華厳寺	たにくみさん	十一面観音	不定	天台宗	岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲徳積23

「和泉山地・槇尾山施福寺ハイキング」の記録

今回の「和泉山地・槇尾山施福寺ハイキング」は、天候に恵まれた中（少し寒かったです）今年最後の山行例会を行いました。山行は、バス停そばの落差50mの満願の滝で気合を入れてから「西国三十三か所観音霊場第四番札所・施福寺」へお参りし、金剛葛城連峰の素晴らしい眺望を楽しみ、檜原分岐を五ツ辻方面にコースを取り、途中の尾根沿いで昼食をすませて、五ツ辻から芝生公園への工程はアップダウンを乗り越えて、当初予定の槇尾山観光センターのバス停に行かないで、槇尾山口の南海バス停まで歩きました。

1. 日 時：2015年12月17日（木）9時 泉北高速鉄道和泉中央駅集合
2. 持ち物：弁当、飲み物、ストック、その他
3. 参加者：浅野、大石、金戸、後藤、坂根、長尾、並木、日景、藤井、前窪、前野、杵三、杉谷
4. 行 程：和泉中央駅⇄バス⇄満願寺⇄満願の滝⇄山門⇄施福寺⇄檜原分岐⇄昼食⇄五ツ辻⇄芝生公園⇄槇尾山口バス停⇄和泉中央駅（解散）



満願寺 弁財天境内案内図



山門



満願の滝



施福寺へ向かう参道



西国三十三か所観音霊場第四番札所・槇尾山施福寺

- ・創建は、欽明天皇時代と伝えられています。(仏教伝来の頃)
- ・弘法大師空海が二十歳の時出家剃髪したと伝えられています。
- ・地名の起源は、役小角（役行者）が法華經の卷々を葛城山の各所に埋納したが、ここで最後に埋納したので巻尾山（槇尾山）と伝えられています。



昼食（一人暖かいカップラーメンを食べています）

泉北から大阪湾と向こう側に六甲が見えます



施福寺での集合写真



最終のバス停へ向かう

今回の幹事は、雨で中止分を引き継ぎ(下見をしないで)金戸さんにお世話を掛け、感謝します。

(記録: 杉谷 写真: 坂根)